

村民の声対応状況（令和 7 年10月①）

受 付 日	令和 7 年10月 3 日（金）
要 旨	子どもの福祉・教育の充実について
内 容	・村は、子どもの福祉・教育への取組が足りていない。 ・行政として、子どもたちのために予算を使い、いろいろな取組をしてほしい。 ・学力向上のため、福祉センター図書館や学校図書の充実も希望する。 ・村長は、子どもの福祉・教育について、どのような取組をしてくのか具体的に知りたい
回 答 日	令和 7 年10月16日（木）
回答	現在、村では出産や子育てを支援するため、給付事業や子育て相談、ベビーシッター利用支援等の子育て支援事業、社会福祉協議会によるとびうおクラブなどへの補助事業を行っています。また、父島・母島保育園の運営や、予防接種・健診・親子教室などの母子保健事業も実施しています。 母島保育園が令和 8 年 1 月に新施設への移転を予定しており、父島保育園についても建て替え計画を予定しています。 ハード面だけでは、福祉の充実は図れないので、その担い手となる職員の確保や関係機関との連携を進めながら、福祉のさらなる充実を目指してまいります。 また、福祉センターでは絵本や児童書の充実について、指定管理者と協議を重ねながら検討を進めていきます。 最後に、児童福祉や教育の充実に向けて、村長をはじめ担当職員が日々努力を重ねておりますが、職員の欠員などにより一部事業の縮小を余儀なくされ、村民の皆様にはご迷惑をおかけしております。今後も村政の充実に向けて尽力してまいりますので、引き続き、村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。